

登録日 2018/3/12

登録番号 Angiosarcoma002

腫瘍名 血管肉腫(個人限定)

申請診療科 皮膚科

投与スケジュール

Eribulin			21日毎 × ∞				
			1クール		2クール		
			1	8	22 ...	(day)	
①	デキサート	6.6 mg	点滴	15分	↓	↓	↓
	生理食塩水	50 mL					
②	ハラヴェン	1.4 mg/m ²	点滴	5分	↓	↓	↓
	生理食塩水	50 mL					
③	生理食塩水	50 mL	点滴	5分	↓	↓	↓
	フラッシュ						

注意事項

【減量、中止基準】

- ・各投与日の基準: 好中球数: $\geq 1000/\text{mm}^3$ 、血小板: $\geq 75000/\text{mm}^3$ 、非血液毒性: $\leq \text{Grade}2$
- ・上記の基準を満たさない場合、Day1は延期する。
Day8で上記を満たさない場合は延期した上で、①または②の条件に従って対応する。
 - ①1週間以内に回復 ⇒ Day15に減量して投与(次コースは2週間以上間隔を空ける)
 - ②1週間以内に未回復 ⇒ 次コースまで休薬

【2サイクル目以降の減量基準】(目安の用量: $1.4\text{mg}/\text{m}^2 \Rightarrow 1.1\text{mg}/\text{m}^2 \Rightarrow 0.7\text{mg}/\text{m}^2 \Rightarrow$ 投与中止)

前サイクルで下記の副作用などが発現した場合、減量した上で投与する。

- ・7日を超えて継続する好中球減少 ($< 500/\text{mm}^3$)
- ・発熱または感染を伴う好中球減少 ($< 1000/\text{mm}^3$)
- ・血小板数減少 ($< 25000/\text{mm}^3$)
- ・輸血を要する血小板数減少 ($< 50000/\text{mm}^3$)
- ・Grade3以上の非血液毒性
- ・副作用などにより2週目に休薬

【別途、減量基準】

- ・乳がんにおける使用では、肝障害、末梢神経障害時に減量・休薬基準があるので参考にして、適宜、対応する(DINETから乳がん適正使用情報を参照)

【その他】

- ・無水エタノールを含有するため、アルコール過敏な方への投与に注意を要する(禁忌ではない)。
- ・用量規制因子(DLT): 好中球減少、発熱性好中球減少症
- ・安定性: 調整後 ・室温: 6時間以内 ・冷蔵: 24時間以内は安定
- ・5%ブドウ糖注射液で希釈しない(反応生成物が認められたため)

参考文献

- 1) Journal of Dermatology, 45, 116-117 (2017).
- 2) Clin Transl Oncol, 18, 1213-1220 (2016).
- 3) Cancer Chemother Pharmacol, 77, 133-146 (2016).
- 2) ハラヴェン添付文書・ハラヴェン悪性軟部腫瘍 適性使用ガイド2016年版